

子どもデザイン教室事業の計画

6つの児童福祉施設と一般家庭の子どもに
3つのプログラムを展開

①児童福祉施設と一般家庭向け

えとこうさくレッスン

年6回土曜日／年会費：4,000円・月会費：6,000円（児童福祉施設は無料）

②児童福祉施設と一般家庭向け

こどキャラレッスン

年12回土曜日／年会費：4,000円・月会費：12,000円（児童福祉施設は無料）

③児童福祉施設向け

将来デザインレッスン

年12回日曜日／年会費：4,000円・月会費：無料

述べ60回・444人のレッスンで満足度95%、
児童福祉施設40人・一般家庭17人を計画

2029年度までの中期計画

「えとこうさくレッスン・こどキャラレッスン・
将来デザインレッスン」を実施

2026年度、「えとこうさくレッスン」は初心者向け「えとこうさくレッスン」と初級者向け「絵と工作レッスン」を統合します。「こどキャラレッスン」は毎週木曜日のレッスンを月1回土曜日に集約します。本年度の大きなお知らせは、7年ぶりの「将来デザインレッスン」の復活です。このレッスンは「自分の人生をデザインできる人になる」レッスンです。

2026～2029年度は代表理事の和田の高齢化に伴い、収益事業である一般向けレッスンの人数を減らし、法人の本来目的である「親と暮らせない子どもの支援」を継続するための準備期間とします。これは事業の集中と経費削減で、次世代が運営しやすくするための施策です。



子どもたちが笑顔になり、自立を支援するレッスン

2030年度からの長期計画

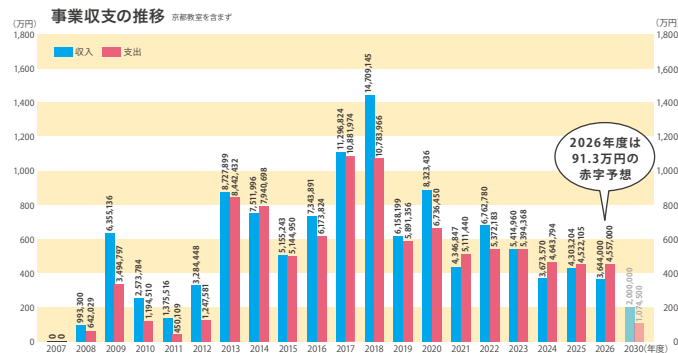
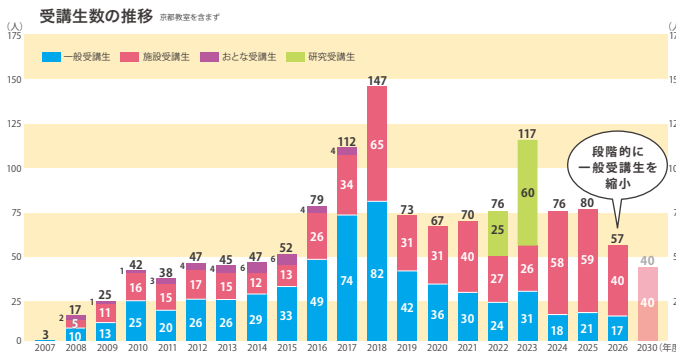
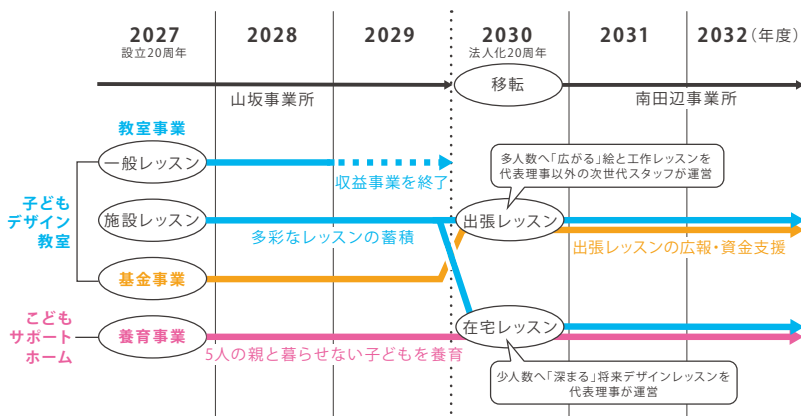
集中と経費削減で、次世代に繋がる支援を

現在の教室事業は経常的な赤字が続いています。そこで固定経費削減のため、2030年度をもって現在の山坂事業所を閉鎖し、発祥の地である南田辺事業所に移転します。この結果レッスン会場がなくなるため、収益事業の一般向けレッスンは2029年度までに終了します。

その上で法人の本来目的である施設向けレッスンを出張と在宅の2つの形で実施します。一つは児童福祉施設向けの出張「絵と工作レッスン」です。皆様からのご寄付はこの出張レッスンに活用し、ご寄付の効果を見える形にします。そしてこのレッスンの講師や広報・寄付活動は、代表理事の和田以外の次世代スタッフが担当します。

もう一つはこどもサポートホーム向けの在宅「将来デザインレッスン」です。このレッスンは里親子である代表理事の和田が担当し、自身の法人運営の最終形にします。2007年から始まった子どもデザイン教室の活動は2027年度で丸20年を迎えます。デザイン教育による「親と暮らせない子ども」の支援は、次世代への継承をめざしてまいります。

デザイン教育による「親と暮らせない子どもの支援」ロードマップ



「デザイン国語」の学会発表・啓発活動・書籍化

2026年度は日本子ども虐待防止学会大阪大会での学会発表、講演・研修などの啓発活動、「デザイン国語」のテキストブックの発刊をめざします。

京都教室も母子生活支援施設で
年6回のレッスンを計画

子どもデザイン基金事業の計画

913,000円の赤字と今後の改善策

2026年度は総額1,850,000円のご寄付を計画しています。しかしそれでも913,000円の赤字を想定しています。これは収益レッスンと非収益レッスンの混在による運営効率の悪さと固定経費の高さが原因です。このため2029年度までに収益事業を終了し、事業の集中と経費削減で、今後も事業を継続できる体制に改めます。

とりわけ皆様からのご寄付は、児童福祉施設向けの出張「絵と工作レッスン」のレッスンに活用し、ご寄付の効果を皆様に見える形にします。ほかにも広報・寄付活動として、キッズサポーター（賛助会員）を募集します。毎月継続的にご寄付くださるご支援者を増やすことで、安定した運営をめざします。



企業様・団体様と協同し、親と暮らせない子どもを笑顔にする企画を実施

大阪東ロータリークラブ様との協同や「こどキャラ」の実施

12月、キッズプラザ大阪で大阪東ロータリークラブ様との協同でクリスマス会を開催します。他にもいくつかのイベントを企画中です。

また親と暮らせない子どもが創作したキャラクターを販売し、その収益をレッスン費用にする福祉型キャラクタービジネス「こどキャラ」を実施します。

こどもサポートホーム事業の計画

(個人事業)

5人の子どもを育てます。

2026年度もまた、中学生の子どもが家庭復帰します。これにより子どもは4人となりますので、いずれまた、新しい子どもを迎えることでしょうか。いくつの子どもの来るのか？また楽しみの一つです。

中高生は将来の自立を見据えて、その特性が活かせる得意分野は何かを模索しています。また思春期を迎え、時には手を焼くこともあるでしょう。しかし子どもの主体性を育みながら、人生の大きな選択を迎える大切な時期だからこそ、教育の必要性の理解を促すことはおとなの課題です。

養育の困難な子どもの子育て

養育の困難な子どもは、専門的な施設で育てるべきか、あるいは家庭的な我が家で育てるべきか、悩んでいます。他の施設へ移っても状況が良くなる確証はなく、措置変更がその子に及ぼす悪影響は計り知れません。

一方で子どもの成長段階にあわせ、最適な支援者が養育のバトンをリレーするのも一つの養育方法です。そのほか他の子どもの安心や、スタッフの心身の安全保障も私の大切な役割です。相反する様々な見解が対峙するため答えはありません。「ほかに良い方法があるのでは？」と、いつも堂々巡りをしています。



2026年度も4回の旅行を計画

「将来デザインレッスン」の実施

2026年度は子どもデザイン教室の新しいカリキュラムとして、「将来デザインレッスン」をします。これはこどもサポートホームの子どもたちが将来、自分の人生を心から愉しむためには「今、何をすべきか」を学ぶレッスンです。さらに2030年度からは、教室とホームの事業を統合し、在宅でのレッスン形式に移行する予定です。これをもって私自身のレッスンの最終形にしたいと考えています。

個人的な話ですが、代表理事の和田は今年で65歳になり、この事業をあと10年、20年と続けることは困難です。里親になってもう15年になりますが、まだまだ未熟者で、時には怒りや悲しみで心が揺れ動く毎日です。それでも何とか児童養護の理想形を見出して、児童養護の日々を全うしたいと願っています。

継続的なご寄付のお願い

親と暮らせない子どもを支援するために、キッズサポーター（賛助会員）となって、継続的なご支援をお願いします。1日あたり約30円から始められるご寄付が、子どもたちを笑顔に繋がっています。ほかにも自由額でご寄付頂ける方法もございます。皆様からのご厚情を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

月1,000円 月3,000円 月6,000円

お支払い方法はクレジットカード決済か、銀行口座振替のいずれかをお選びください。

- (1) クレジットカードでお支払いの場合、右記QRコードよりお手続きをお願いします。
- (2) 銀行口座振替でお支払いの場合、下記口座よりお振り込みをお願いします。

ゆうちょ銀行 〇九九店(ゼロキウキウ)【当座0313097】トクヒ コドモデザインキョウシツ
りそな銀行 田辺支店【普通1324704】トクヒ コドモデザインキョウシツ

